

重点2 森林、緑地の保全等の推進

2 - 1 森林の多面的機能の発揮の促進

森林は、水源かん養機能を始め、二酸化炭素を吸収し貯蔵する機能、多様な生態系を維持する機能、自然学習や環境教育の場としての機能など、多面的な機能を有しています。本県は、県土の約78% (約35万ha)を森林が占め、県民1人当たりの森林面積が国民1人当たりの森林面積の約2倍と、豊富な森林資源を有しているため、この多面的機能の効果を十分に享受することができ、大気の浄化、ヒートアイランド現象の緩和、余暇空間の創出など、健やかで潤いのある生活環境が創出されています。今後も、森林の有する多面的機能を発揮させていくため、森林の適正な維持・管理を計画的に図るとともに、都市部での緑化を推進していく必要があります。

1 森林区分に応じた森林整備(森林整備課)

森林の有する「水源涵養機能」「山地災害防止機能/土壌保全機能」「快適環境形成機能」「保健・レクリエーション機能」「文化機能」「生物多様性保全機能」「木材等生産機能」などの多面的機能を高度に発揮するため、適切な森林整備を推進します。

2 間伐の促進(森林整備課)

県土の保全、水資源のかん養、保険・文化・教育的利用、生物の多様性の維持保全、地球温暖化防止などの、県民の森林の役割に対する期待に応えるため、間伐を推進しています。

本県の森林のうち、約44% (15万ha)が人工林であり、そのうち、16～35年生の森林が約19%を占め、森林の公益的機能の維持や地球温暖化防止に向けた森林吸収源対策として、積極的な間伐の推進が必要となっています。

こうした中、平成20年度に、「森林の間伐等の実施の促進に関する特別措置法」が施行され、県では「山梨県特定間伐等の実施の促進に関する基本方針」を、県内の森林の所在する市町村(26)では「市町村特定間伐等促進計画」を策定し、県、市町村、森林組合、林業事業者、森林所有者等の連携により、各種補助事業を積極的に活用した間伐の推進を図っています。

県内で実施される間伐等の集計 (国有林を除く) (ha)

年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
間伐実績	5,660	5,109	4,423	3,713	3,646	3,561

3 県有林間伐材の利用促進(県有林課)

県有林管理計画において、「持続可能な森林経営の推進」を計画しており、高齢級森林や緩衝林において、抜き伐り・小面積皆伐・素材搬出を行い、県有林の公益的機能の持続的発揮と森林資源の循環利用の推進を図ってきました。平成12年度から20年度までは、森林環境総合整備推進事業及び平成21年度からは県有林低コスト安定供給推進事業により、保育間伐の小径木も積極的に搬出し路網整備と一体的な事業を展開しています。

間伐実施箇所では林床部に陽光が入り、多様な下層植生が繁茂するなど、美しい森林景観を形成しています。

県有林低コスト安定供給推進事業実績(H21～)

年度	間伐(ha)	素材搬出(m3)
H12年度	62	4,880
H13年度	53	4,854
H14年度	35	4,172
H15年度	48	4,819
H16年度	61	4,798
H17年度	63	4,121
H18年度	68	5,291
H19年度	94	4,430
H20年度	32	3,550
H21年度	49	5,493
H22年度	76	6,223
H23年度	98	6,818
H24年度	91	4,782

(H12～H20は森林環境総合整備推進事業)

2 - 2 森林環境教育の推進

1 森林総合研究所の森林教育等

(1)森の教室(森林環境総務課)

展示室、工作室、図書コーナーなどの施設や森林科学講座、体験学習、木工教室などの各種イベントの開催により森林、林業について幅広い普及啓発を行っています。平成24年度の来館者数は18,222人であり、実施したイベントの実績は次のとおりです。

教科	内容	講師	実施日	参加者数
やさしい森の科学講座	山菜教室	森林総合研究所 戸沢主任研究員	H24.5.12	34
	森の昆虫教室	森林総合研究所 大澤主幹研究員	H24.7.14	36
	枝打ち体験と森のお菓子作り教室	林業作業技能士 佐藤孝之	H24.9.15	13
	天然キノコの見分け方教室	森林総合研究所 柴田研究管理幹	H24.10.6	16
	炭焼き体験学習	森林総合研究所非常勤嘱託 名取潤	H24.12.1	10
	ヒラタケの植菌体験教室	森林総合研究所 柴田研究管理幹	H25.2.9	33
	間伐体験と椎茸の植菌教室	林業作業技能士 白川友春 森林総合研究所 柴田研究管理幹、 田中主任研究員	H25.3.2	36
観察会	春の里山観察会	緑花文化士 斎藤敬文	H24.4.28	20
	秋の里山観察会	緑花文化士 斎藤敬文	H24.11.17	8
森林環境教育講座	栓の皮を編む	森林インストラクター 佐久間雅哉	H24.7.7	23
	森は大事なエネルギー	森林インストラクター 佐久間雅哉	H24.12.8	19
小計				248
屋外木工教室	ブランター作り	森の教室、森林総合研究所職員	H24.4.15	56
	ヒノキ板型抜き	森の教室、森林総合研究所職員	H24.10.20-21	245
小計				301
木工、クラフト教室	草花で遊ぼう	森の教室職員	H24.5.19	13
	レターラック作り	森林総合研究所 鈴木技能員	H24.6.3	15
	押し花で遊ぼう	押し花インストラクター 山岸一恵	H24.6.17	24
	踏み台作り	森林総合研究所 鈴木技能員	H24.8.8	22
	小枝で遊ぼう(動物編)	森の教室職員	H24.8.18	18
	カントリー風小箱作り	森林総合研究所 鈴木技能員	H24.9.9	28
	小枝で遊ぼう(壁掛け編)	森の教室職員	H24.7.1-10.14	315
	つるを編む	森の教室職員	H24.11.3	26
	クリスマスリース作り	森の教室職員	H24.11.25	55
	木工＆餅つき体験	森林総合研究所 鈴木技能員	H25.1.12	53
	「凧」を作る	木工クラフト作家 鈴木昭吾	H25.1.19	24
	モービルを作る	森の教室職員	H25.2.23	25
	糸ノコで作る動物園	森の教室職員	通年	71
小計				689
合計				1,238

(2) 森林環境教育に関する研修(林業振興課)

森林環境教育の指導者を育成するため、教員を対象とした教員指導者養成研修を実施しています。平成24年度の実績は次のとおりです。

区分	内容	講師	実施日	参加者数
教員指導 養成研修	身近な自然の指導法研修会	森林・林業の基礎知識 植物と親しむ(押し葉標本作り) 森と人との関わり方(林業技術体験)	H24.7.23	17
教員指導 養成研修	環境とものづくり研修会	森林・林業・木材の基礎知識 木工入門(木材の性質について、技法 の基礎知識、木工作業の計画方法)	H24.7.25	24
			合計	41

(3) 附属機関の活動(八ヶ岳薬用植物園)(森林環境総務課)

ハーブなどの薬用植物や特用林産物の利用及び栽培方法を研究し、普及指導を行っています。平成24年度の来園者は15,570人でした。なお、実施した研修実績は次のとおりです。

区分	内容	講師	実施日	参加者数
山菜利用	山菜を楽しもう!(山菜の見分け方)	森林総合研究所 戸沢主任研究員	H24.5.19	20
ハーブ利用	キッチンにハーブを	ハーブ研究家 興石睦子	H24.6.24	20
薬草利用	薬用植物園で草木染め!	工芸作家 小野寺藤美	H24.7.1	20
木工教室	山梨で育った木で工作に挑戦!	森林総合研究所 鈴木技能員	H24.8.18	20
きのこ利用	野生きのこ教室	森林総合研究所 柴田研究管理幹	H24.9.1	25
ハーブ利用	ハーブ料理教室	ハーブ研究家 興石睦子	H24.9.9	20
薬草利用	薬草入門	薬剤師 須藤はじめ	H24.10.13	24
自然体験	野山のつるでかご作り	元・森林総合研究所研究員 源馬傳一	H24.10.27	20
自然体験	腐葉土作り	八ヶ岳薬用植物園 名取 潤	H24.11.10	24
きのこ利用	きのこ栽培教室	森林総合研究所 柴田研究管理幹	H25.3.16	24
			合計	217

2 学校林の活用推進(みどり自然課)

学校週5日制の実施や総合的な学習の時間の創設に伴い、森林の教育的利用に対するニーズが高まってきている中で、児童・生徒の森林環境教育の場として学校林を活用するために必要な指導助言や情報提供を行っています。また、活動の活発化を図るため平成19年度には「森林環境教育の手引き～学校林活用マニュアル～」を発行しました。

3 どんぐりクラブ育成事業(みどり自然課)

小学生以下の子ども達に、山や森、公園に落ちているどんぐりを拾う活動を通じて、緑に親しみ、森林を大切にする心を育ててもらうことを目的として実施しています。また、集まったどんぐりは環境教育等への活用を図るため、県緑化センターで養成し、希望した小中学校や公園等に配付しています。

平成24年度は695人の子ども達が会員となり、集めたどんぐりの数に応じてヤマアジサイとユキヤナギを配付しました。

2 - 3 緑化の推進

1 緑化まつりの開催(みどり自然課)

緑や森林に対する関心が高まる中で、森林の果たす役割や緑化に対する県民意識の高揚を図り、県民の緑化活動への積極的な参加を促進するため、毎年県土緑化強調期間(4～5月)中に県民緑化まつりを開催し、記念式典、植樹等を実施しています。

(平成24年度県民緑化まつり)

開催日 平成24年5月12日

会場 (記念式典)県立産業技術短期大学校体育館
(植樹会場)甲州市塩山上於曾塩ノ山地内(民有林)

参加者 県民約600名(一般県民、緑の少年少女隊、森林・林業団体関係者、森林ボランティア団体等)

2 緑化センターの活動(みどり自然課)

豊かなふるさとづくりを目指し、県民の緑化思想の高揚と緑化の知識・技術の普及を図るため「緑の教室」、「緑サポーター養成研修」等を開催し、当該事業の充実に努めながら緑に関する総合窓口としての機能を発揮するよう努めるとともに、樹木医による緑化相談を実施し、緑にふれあい、親しむ知識・技術や活動の援助・指導を行っています。

また、県民の緑に対する関心、要望等が高まる中で、直接緑とふれあい親しむ場として、県内の樹木等を植栽した郷土の森、実習園、小庭園等を配置した緑化見本園の維持管理を行い、来園者に緑化思想の普及を図っています。近年は、幼稚園・保育園・小学校の園児児童や家族連れなど多くの見学者が同見本園を訪れており、これに伴う園内の案内や見学者に対し緑化思想の啓発を行っています。

さらに、天然記念物等の貴重な樹木の衰弱が多く発生しており、これらの樹木診断のため、樹木医が現地に出向き管理指導を行っています。

(業務の概要(平成24年度実績))

緑化思想の高揚、緑化知識・技術の普及

緑化相談(年間相談件数 1,314件)

緑の教室の開催(年間 34回開催)

親子緑の集い開催(年間 43回開催)

子ども樹木博士認定(参加者 26名)

緑サポーター養成研修の実施(登録者数 8名)

緑化研修の開催、緑化情報の収集・提供

緑化見本園の管理

場所:甲斐市篠原(昭和54年4月オープン)

面積:21,394㎡・植栽樹木:約18,000本

・指定管理者:平成18年度より山梨県造園建設業協同組合が指定管理者として管理を行っている。



緑の教室



緑化見本園

3 緑の風景の創造(みどり自然課)

(1) 公共施設的环境緑化

みどりの街並み計画の区域や緑被率の低い県有施設を対象に、大型緑化樹、郷土種等の植栽による緑化を行った(平成24年度実施箇所:甲府東高校)。

(2) 環境緑化用樹木の養成

公共用緑化樹及び大型緑化樹の養成(県内3箇所の緑化園で養成)

グリーンバンク事業(不用となった大型緑化樹の引き取り及び再利用)

2 - 4 ふれあいの機会の提供

1 森林文化の森の整備(県有林課)

近年では、人間性、親子の絆といった精神面の形成や情操教育の面から、“人と森林、人と人とのふれあい”の重要性が高まっており、かつてのような生活様式を基盤とした森林との関わり方を再評価し、新たな人と森林との共生を模索し、実現していく森づくりが求められています。

そこで、地元の方々の貴重な意見を踏まえ、県有林を主とした県下12か所に「森林文化の森」を整備していくこととし、平成10年度に整備計画を策定し、平成11年度から各地域の歴史特性、景観、森林の特徴を活かして歩道やトイレ等の整備、森林整備を行い、平成15年度に基本的な施設整備を終了しました。

なお、既存の県民の森、武田の杜、金川の森についても森林文化の森として位置づけを行い、主催事業の実施などを通じて、森林文化の森の利用促進の先導的役割を果たしています。

森林文化の森のねらい

- ・活力ある山村づくりと中山間地域の振興・山梨の原風景の再生
- ・体験を通じた森林観の形成
- ・人間性の回復と親子の絆の強化
- ・自然教育の推進

整備の基本方針

- ・森林そのものを活用した場所づくり
- ・地域の特性を生かした景観づくり
- ・文化的要素の導入
- ・積極的な利用促進策の展開
- ・市町村等との連携

整備箇所

- | | |
|-----------|-----------------------------|
| ・釜無水源の森 | 峡北地域(北杜市白州町) |
| ・八ヶ岳の森 | 峡北地域(北杜市長坂町、北杜市大泉町、北杜市小淵沢町) |
| ・瑞牆の森 | 峡北地域(北杜市須玉町) |
| ・乙女高原の森 | 東山梨地域(山梨市牧丘町) |
| ・兜山の森 | 東山梨地域(笛吹市春日居町) |
| ・大菩薩の森 | 東山梨地域(甲州市塩山) |
| ・小金沢シオジの森 | 東部地域(大月市) |
| ・稲山の森 | 東八代地域(笛吹市八代町) |
| ・河口の森 | 富士北麓地域(富士河口湖町) |
| ・十谷の森 | 峡南地域(富士川町) |
| ・本栖の森 | 富士北麓地域(身延町、富士河口湖町) |
| ・思親山の森 | 峡南地域(南部町) |

<利用促進策の展開>

森林文化の森では、整備された歩道、森林をフィールドとして県、市町村、有識者、他地域住民などからなる「森林文化の森連絡会議」や「森の学校」が自然観察、林業作業体験、木工作、ボランティア活動など誰でも気軽に参加できる「森林体験プログラム」を実施しています。各森林文化の森の施設配置や森林体験プログラムへの参加者募集については、パンフレット、県及び関係市町村の広報、県のホームページ、チラシなどを通じて情報提供を行っています。

2 森林公園の管理運営(県有林課)

気軽に森林とふれあい、自然に親しみ学ぶ場として、県民の森、武田の杜、金川の森の3つの森林公園を設置しています。これらの公園では、立地環境にあわせて、森林科学館、キャンプ場、木製大型遊具など、それぞれ特色ある施設を備え、年間94回(平成24年度 3公園計)に及ぶ体験学習教室やイベントを開催しています。

	県民の森	武田の杜	金川の森
所在地	南アルプス市	甲府市	笛吹市
面積	953ha(うち管理面積14ha+歩道35km)	2,500ha(うち管理面積202ha+歩道23km)	36.2ha
開設年	昭和43年	昭和48年	平成8年
主な施設	森林科学館、林間広場、休憩舎、遊歩道他	キャンプ場、森林学習展示館、自由広場、遊歩道他	ターゲットパードゴルフ場、乗り物広場、木製遊具、芝生広場
利用者数(H24)	49,494人	89,915人(管理エリアのみ)	276,300人
体験教室イベント	森の生きもの観察会、溪流生物観察会、森の染物屋さん、カエデウオッチング、バーニングアート等	さくらまつり、親子でキャンプ、野生きのこ教室、野鳥観察会、炭を焼くつどい等	マウンテンバイク教室、水辺の生き物観察会、写真教室、ターゲットパードゴルフ大会、交通教室等

3 「山の日」啓発活動(森林環境総務課)

山梨県は、日本を代表する山々に囲まれた山岳県であり、また、県土の78%を森林が占める全国有数の森林県です。このような恵まれた環境に囲まれた本県において、山や森林から受ける恩恵は計り知れないものがあり、これらの山や森林は、良好な形で次代へと引き継いでいかなくてはなりません。先人のたゆみない努力により、守り育まれてきたこの山や森林を見つめ直し、その恩恵に改めて感謝するとともに、県民の自発的な森林づくりをはじめとする環境保全活動を通じて、現在及び将来にわたって、県民が豊かな山や森林の恩恵を享受できる人間と自然との共生社会を構築することを期して、毎年8月8日を「やまなし『山の日』」として定めています。平成24年度は、次の記念事業や関連事業等を通して、県民にやまなし「山の日」の趣旨の普及、啓発事業を実施しました。

山の日宣言

山に親しむ 山に学ぶ 山と生きる

山梨は、日本を代表する山々に囲まれた山岳県であり、全国有数の森林県である。この山や森林を見つめ直し、その恩恵に改めて感謝する契機とすべく、山に親しみ、山に学び、山と生きることを目指して、ここに、やまなし「山の日」を宣言する。

一 私達は、さわやかな空気、清らかな水、緑豊かな美しい景観、安全な生活など、その計り知れない恩恵が山や森林から与えられていることを確認する。

一 私達は、山や森林に親しむことを通じ、そこで育まれた歴史や文化、産業、自然などを学び、山や森林と私達との密接な関係を再認識する。

一 私達は、先人のたゆまぬ努力により、守り育てられてきたこの山や森林を良好な形で次代へと引き継いでいかなくてはならない。

一 私達は、自然との共生、市民参加の森づくり、山村地域の活性化などを推進するため、意識を変革し、行動することを決意する。

一 私達は、山や森林の重要性に対する理解を深め、山の日が全国的なものとなるよう広く呼び掛けていくものとする。

平成九年八月八日

(1)普及啓発事業

イベントガイド及びポスターによるPR活動 キャンペーン用品の配布 新聞、雑誌、ラジオ等での啓発

(2)記念事業

山の日記念「森の教室」 山梨百名山チャレンジ登山 山の博覧会 山の日首都圏キャンペーン

(3)関連事業

関連イベントの開催(県、市町村、関係団体による53イベントの開催)

山村施設無料招待(山や森林の魅力を知っていただくため、抽選で山村施設への無料招待を実施)

山の日写真コンクール やまなし「山の日」絵画コンクール やまなし「山の日」関連イベント助成